



「□」を使った式

組 番

名前

□を用いた式

Aくんは、<sup>かいばつ</sup> 海拔□mのところに住んでいます。

ある日、大きな<sup>じしん</sup>地震がおきたので、<sup>つなみ</sup>津波が来るかもしれない  
と思い、Aくんの家より海拔が7m高い、海拔25mの建物へ  
<sup>ひなん</sup>避難しました。

□にあてはまる数はいくつでしょう。

☆ポイントチェック☆

あてはまる言葉を「○」でかこみましょう。

津波から身を守るには、なるべく 高い ・ 海から遠い  
場所へにげる



「□」を使った式

組 番

名前

□を用いた式

Aくんは、<sup>かいばつ</sup> 海拔□mのところに住んでいます。

ある日、大きな<sup>じしん</sup>地震がおきたので、<sup>つなみ</sup>津波が来るかもしれない  
と思い、Aくんの家より海拔が7m高い、海拔25mの建物へ  
<sup>ひなん</sup>避難しました。

□にあてはまる数はいくつでしょう。

18

「海拔」の意味、沿岸部で地震に遭遇した際には、高台等へ避難することが重要であることをご指導ください。  
また、建物に避難することを前提に、津波避難ビルの標示もあわせて提示してください。

※第2学年「たし算（1）」と同内容の問題です。

☆ポイントチェック☆

あてはまる言葉を「○」でかこみましょう。

津波から身を守るには、なるべく ○高い ・ 海から遠い  
場所へにげる

海から遠くても、海拔が低いと津波が押し寄せる危険性があります。